

令和5年度 意見交換会事例集

令和6年3月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

目 次

本事例集の趣旨	…… 1
意見交換会の種類(例)	…… 1
意見交換会の開催の流れ(例)	…… 2
令和5年度の意見交換会(まとめ)	…… 3
令和5年度の意見交換会(個別事例)	…… 3

本事例集の趣旨

本事例集は、本協議会が今年度開催した意見交換会の状況を取りまとめたもので、今後の意見交換会開催の参考とすることを目的として作成しています。

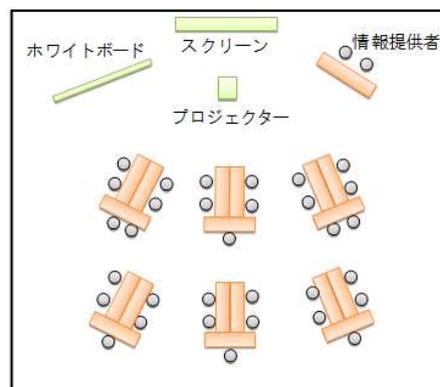
意見交換会の種類（例）

1 ワークショップ形式

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。
（各グループに討議の進行役（ファシリテーター）を配置することが望ましい）

【プログラム例（所要時間：3時間30分）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク※
0:15	情報提供（50分程度）
1:05	グループワーク（60分程度） （グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。）
2:05	休憩
2:15	グループ発表（20分程度）
2:35	全体での意見交換（50分程度） （グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
3:25	アンケート記入・閉会



〈会場配置例〉

※アイスブレイク

氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

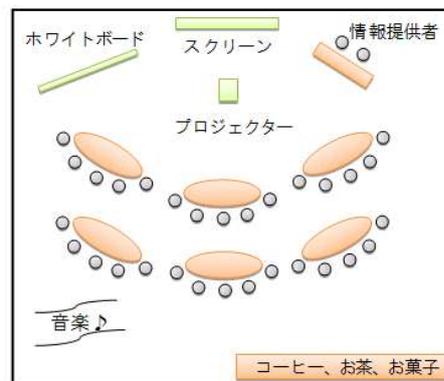
2 サイエンスカフェ及びセミナー形式

気軽な雰囲気の中で、専門家などがなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は質問カードなどを用いて質問や意見を自由に出し、情報提供者・参加者間で相互に意見交換しながら、知識や視野を広げる。

※参加者が茶菓を喫食しながら行うものをサイエンスカフェ、茶菓の提供を行わないものをセミナー方式とする

【プログラム例（所要時間：2時間）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供（45分程度）
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換（45分程度） （最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
1:55	アンケート記入・閉会



〈サイエンスカフェ会場配置例〉

意見交換会の開催の流れ（例）

◆事前準備

- 1 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
 （ ・ 開催希望日の概ね2か月前までに提出すること。
 ・ 未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。）
- 2 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。
 （参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。）
- 3 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
 （ワークショップの場合は、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行い、ファシリテーターを設置する場合は、選定する。）

◆開催当日

- 1 開始1時間～15分前から会場設営を開始する。
 （参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。）
- 2 概ね開始30分前から参加者の受付を開始する。
 （ ・ ファシリテーターを設置する場合、打ち合わせを実施する。
 ・ サイエンスカフェ方式の場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。）

◆準備品について

開催当日に、必要に応じて以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者	
<input type="checkbox"/> パソコン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体	
<input type="checkbox"/> プロジェクター	1		
<input type="checkbox"/> スクリーン	1		
<input type="checkbox"/> 延長コード	1		
<input type="checkbox"/> マイク	2	開催希望団体	
<input type="checkbox"/> ホワイトボード	1		
<input type="checkbox"/> 配布資料	参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体	
<input type="checkbox"/> ワークショップの場合		生活衛生課もしくは開催希望団体	
模造紙	グループ数+ α		
カラーマジック	グループ数+ α		
大判ポストイット	グループ数+ α		
セロテープ	グループ数+ α		
サインペン	参加人数分		
<input type="checkbox"/> サイエンスカフェの場合		開催希望団体	
茶菓	参加人数分		
質問用紙	参加人数分×3枚程度		生活衛生課もしくは開催希望団体
サインペン	参加人数分		
セロテープ	1		

令和5年度の意見交換会（まとめ）

<令和5年度の開催結果>

意見交換会の開催回数	4回
参加人数	93人

<意見交換会一覧>

No	形式	開催日	場所	主たる共催団体	テーマ	参加人数
1	パネルディスカッション	11月9日	山口市	(一社)山口県食品衛生協会	食中毒予防等	53
2	施設見学	11月17日	山口市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー	食品の安全性 HACCP	14
3		11月24日	下関市			9
4		11月28日	光市			17

意見交換会事例(パネルディスカッション)

No. 1

形式	パネルディスカッション
開催日時	令和5年11月9日(木) 13:30~15:00
場所	山口市市民会館 小ホール
主催団体	一般社団法人山口県食品衛生協会
テーマ	残留農薬、食品表示、自主回収、食中毒予防 等
コーディネーター	山口県立大学看護栄養学部栄養学科教授 人見英里氏
パネリスト	○消費者代表 山口県地域消費者団体連絡協議会 山口県消費者団体連絡協議会 ○事業者 一般社団法人山口県食品衛生協会 ○行政 山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	53人

意見交換会事例（施設見学）

No. 2～4

形式	施設見学
開催日時	① 令和5年11月17日（金） 13:30～15:30 ② 令和5年11月24日（金） // ③ 令和5年11月28日（火） 10:00～12:00
場所	① 一般社団法人やまぐち食の安心・安全研究センター ② やまぐち県酪乳業株式会社 ③ カンロ株式会社ひかり工場
共催団体	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー
テーマ	① 輸入食品の安全性について ②③ HACCPについて
情報提供者	① やまぐち食の安心・安全研究センター マネジャー 片山 聖 ② やまぐち県酪乳業株式会社 室長 勝原 博史 ③ カンロ株式会社ひかり工場 係長 林 貴久子
参加人数	① 14名 ② 9名 ③ 17名 (食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー)
準備	山口県生活衛生課 ・参加者募集 やまぐち食の安心・安全研究センター、やまぐち県酪乳業株式会社 カンロ株式会社ひかり工場 ・会場準備 ・備品準備（モニター等） ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品がお店に並ぶ前の事が分かって、とても信用ができるようになった ・「聞いて」、「見て」、「体験して」よく分かり、楽しかったです ・食品の成分についての分析は難しいが、データとして表わされると、食生活上安心できた ・牛乳等乳製品の生産の厳しさ、大変さが良く分かった ・とても詳しく説明されて分かりやすく、良い勉強になりました ・このような研修は、現場や商品を知る上で、とても良いと思う ・工場の衛生管理に安心でき、良い工場見学になった ・なかなか見学できない工場見学ができて良かったです